

[前画面へ戻る](#)

科目名	教育心理学
科目名(英訳)	Educational Psychology
科目ナンバー	HW141B02
詳細情報	授業外学修時間:週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	山内 星子
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	春期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択:HW
他学科受講	
履修順序・履修情報	類似科目情報あり
担当者及び時間割	【春学期】 山内 星子:月5-6
カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	本科目は「心理学発展科目(基礎心理学)」に区分される。教育心理学の基礎的な概念や理論を取り上げる。そのため、教育心理学の基礎的な概念を習得していることが前提となる「教育心理学B」の前に履修しておくことが望ましい。  【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ③:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 学び続ける能力 協調性・協働性(公益心)

授業の主旨 (概要)	教育心理学は、子どもを発達主体として理解し、その発達を促す教育的働きかけとは何か、心理学的な視点から考える学問である。本講義では、学習や動機づけのメカニズム、学習指導のあり方、教育評価の方法、子どもの多様性、学級内の人間関係など、教育心理学の基礎的知見について理解を深める。加えて、思春期に増加する不登校、いじめ、非行、自傷行為などの問題行動の特徴と対処のあり方について、臨床心理学的視点も含めて議論する。実践的な方法論を習得することよりも基礎的な理解を身に着けることに重点を置く。																												
具体的 達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの学習のメカニズムに関する基礎的な心理学的知識を獲得し、説明することができる。</li> <li>2. 子どもの学習を促進する効果的な学習指導のあり方についての知識を得、説明することができる。</li> <li>3. 不適応問題のメカニズムと対処のあり方について理解し、対処に関する自らの考えを述べることができる。</li> <li>4. これらの知識に基づいて、学校現場で生じる多様な教科指導上または生徒指導上の問題に対して、自ら対処の方法を検討することができる。</li> </ol>																												
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>【内容】</td> <td>教育心理学の役割と特徴</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>教育心理学の目的や方法論について説明文を作成する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>【内容】</td> <td>学習の理論(1):行動主義</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>古典的条件づけ、試行錯誤学習、オペラント条件づけについて説明文を作成する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>【内容】</td> <td>学習の理論(2):認知主義</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>洞察説、サイン・ゲシュタルト説、場の理論、社会的学習理論について説明文を作成する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>【内容】</td> <td>学習の理論(3):記憶</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>記憶のメカニズムとその学習指導への応用について説明文を作成する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>【内容】</td> <td>学習の理論(4):学習の諸相</td> </tr> <tr> <td>【授業外学習】</td> <td>忘却、学習曲線、学習の転移について説明文を作成する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【内容】</td> <td>動機づけ(1):欲求と動機づけ</td> </tr> </table>	1	【内容】	教育心理学の役割と特徴	【授業外学習】	教育心理学の目的や方法論について説明文を作成する。	2	【内容】	学習の理論(1):行動主義	【授業外学習】	古典的条件づけ、試行錯誤学習、オペラント条件づけについて説明文を作成する。	3	【内容】	学習の理論(2):認知主義	【授業外学習】	洞察説、サイン・ゲシュタルト説、場の理論、社会的学習理論について説明文を作成する。	4	【内容】	学習の理論(3):記憶	【授業外学習】	記憶のメカニズムとその学習指導への応用について説明文を作成する。	5	【内容】	学習の理論(4):学習の諸相	【授業外学習】	忘却、学習曲線、学習の転移について説明文を作成する。		【内容】	動機づけ(1):欲求と動機づけ
1	【内容】		教育心理学の役割と特徴																										
	【授業外学習】	教育心理学の目的や方法論について説明文を作成する。																											
2	【内容】	学習の理論(1):行動主義																											
	【授業外学習】	古典的条件づけ、試行錯誤学習、オペラント条件づけについて説明文を作成する。																											
3	【内容】	学習の理論(2):認知主義																											
	【授業外学習】	洞察説、サイン・ゲシュタルト説、場の理論、社会的学習理論について説明文を作成する。																											
4	【内容】	学習の理論(3):記憶																											
	【授業外学習】	記憶のメカニズムとその学習指導への応用について説明文を作成する。																											
5	【内容】	学習の理論(4):学習の諸相																											
	【授業外学習】	忘却、学習曲線、学習の転移について説明文を作成する。																											
	【内容】	動機づけ(1):欲求と動機づけ																											

④ 授業計画	6	【授業外学習】 欲求と外発的動機づけについて説明文を作成する。
		【内容】 動機づけ(2):動機づけと無気力
	7	【授業外学習】 内発的動機づけと無気力について説明文を作成する。
		【内容】 学習指導の理論
	8	【授業外学習】 プログラム学習、発見学習、有意味受容学習などの指導法について説明文を作成する。
		【内容】 教育評価
	9	【授業外学習】 教育評価の様々な方法の特徴について説明文を作成する。
		【内容】 教室の人間関係
	10	【授業外学習】 教師-子ども関係や子ども同士の友人関係のあり方について説明文を作成する。
		【内容】 個人差と多様性(1):知能
	11	【授業外学習】 認知的側面の個人差の構造や把握の方法について説明文を作成する。
		【内容】 個人差と多様性(2):パーソナリティ
	12	【授業外学習】 情意的側面の個人差の構造や把握の方法について説明文を作成する。
		【内容】 問題行動の理解と支援(1):不適応問題の基本的性質
	13	【授業外学習】 不適応問題の基本的特徴とメカニズムについて説明文を作成する。
	【内容】 問題行動の理解と支援(2):不適応問題の予防と対応	
14	【授業外学習】 代表的な不適応問題の特徴と支援のあり方について説明文を作成する。	
	【内容】 復習とまとめ	
15	【授業外学習】 本講義の理解度について自己評価をする。	
④ 授業方法	スライドを用いた講義形式。主体的・対話的で深い学びの実現のため、授業内では適宜質問や自分自身の意見の発表を求める。また、毎回の授業の最後に、授業の要点をまとめたリアクションペーパーの作成を求める。フィードバックは、授業中に適宜行う。授業への積極的な参加を期待する。	
④ 成績の評価方法	期末試験40%、リアクションペーパー40%、平常点20%で評価する。期末試験は、用語や人名の知識よりも、授業内で扱った理論や実験の内容の理解を問う内容とする。リアクションペーパーは「授業で学んだことを、自分の体験等に結び付け、有機的に理解できているか否か」によって評価する。平常点は主に授業への参加態度によって評価する。睡眠、スマホ、私語などによる授業への不参加は減点対象となる。	
④ 成績の評価基準	期末試験の得点、リアクションペーパーの内容、授業への参加を達成目標に照らして評価し、総合して60点以上を合格とする。3分の1を超える欠席があった場合、不合格とする。	
④ 教科書		
④ 参考文献		
④ 備考		
④ 関連ホームページ		
④ メールアドレス	山内 星子 <a href="mailto:squ0683@fsc.chubu.ac.jp">squ0683@fsc.chubu.ac.jp</a>	
④ オフィスアワー		

 前画面へ戻る